

令和元年度（2019年度）

# 文化施設における障害者の文化芸術活動 に関する実態調査結果概要

[速報版]

2019年7月実施



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

文化スポーツ部 文化芸術振興課

## < 調 査 の 概 要 >

### ■ 調査方法

- 調査の対象は、滋賀県博物館協議会加盟館（70施設）および平成27年度社会教育調査（劇場、音楽堂等調査）の調査対象施設（36施設）の全106施設を対象に実施
- 調査表は、県内各市町文化施設所管課、滋賀県公立文化施設協会、滋賀県博物館協議会に回答への協力依頼および調査票をメールで発出し、市町および各協議会より施設へ調査表を送付。

### ■ 調査期間

令和元年（2019年）6月28日から7月12日

### ■ 有効回答数・回答率

回 収 率 : 41.5%（回答施設数44件）

有効回答数 : 43件

Q 1 貴施設の主となる機能・目的を選択してください。

有効回答数： 43 件

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 1 劇場、音楽堂等(文化施設) | 27 施設 |
| 2 美術館           | 2 施設  |
| 3 博物館           | 11 施設 |
| 4 公民館           | 2 施設  |
| 5 その他           | 1 施設  |

Q 2 施設の形態は、単独施設ですか、複合施設ですか。あてはまるものを選択してください。

有効回答数： 43 件

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 1 単独施設            | 28 施設 |
| 2 公共施設との複合または併設施設 | 15 施設 |
| 3 民間施設との複合または併設施設 | 0 施設  |

Q 3 施設の管理運営の形態について、あてはまるものを選択してください。

有効回答数： 43 件

|                                 | 20 施設 | (公募)  | (非公募) |
|---------------------------------|-------|-------|-------|
| 1 施設設置者による直営                    | 9 施設  | 0 施設  | 9 施設  |
| 2 公益または一般財団法人による指定管理            | 11 施設 | 11 施設 | 0 施設  |
| 3 民間企業またはNPO法人による指定管理           | 1 施設  | 1 施設  | 0 施設  |
| 4 民間企業またはNPO法人の共同企業体(JV)による指定管理 | 0 施設  | 0 施設  | 0 施設  |
| 5 官民共同企業体による指定管理                | 2 施設  | 0 施設  | 2 施設  |
| 6 その他                           |       |       |       |

- ☐ 舞台技術員・ビル管理  
☐ まちづくり任意団体(地域づくり協議会)

Q 4 貴施設における2018年度の年間入場者数をご記入ください。

有効回答数： 40 件

|                 |       |             |            |
|-----------------|-------|-------------|------------|
| 1 年間入場者数        | 総入場者数 | 2,636,109 人 |            |
| (うち、障害のある方の入場者数 | 総入場者数 | 11,890 人    | (回答数 13 件) |
| (うち、高齢者の入場者数    | 総入場者数 | 49,121 人    | (回答数 8 件)  |

Q5 障害者差別解消法等に対応した施設の整備について、施設の開館以降の取組を含み、あてはまるものを全て選択してください。（複数回答可）

有効回答数： 43 件

|                          |      |       |
|--------------------------|------|-------|
| 1 エレベーター・エスカレーターの設置      | 20 件 | 46.5% |
| 2 施設内の段差等でのスロープの設置       | 31 件 | 72.1% |
| 3 いす式階段昇降機               | 3 件  | 7.0%  |
| 4 多機能型トイレの設置             | 33 件 | 76.7% |
| 5 手すりの設置、滑りにくい床への改善      | 24 件 | 55.8% |
| 6 サインや案内表示の見易さの改善        | 13 件 | 30.2% |
| 7 視覚障害者の誘導用標示(点字ブロック)の設置 | 22 件 | 51.2% |
| 8 視覚障害者の音声案内システム         | 3 件  | 7.0%  |
| 9 障害者用駐車場                | 33 件 | 76.7% |
| 10 車いす席の設置               | 26 件 | 60.5% |
| 11 ワイヤレス補聴システム(磁気誘導ループ)  | 7 件  | 16.3% |
| 12 その他                   | 3 件  | 7.0%  |

○聴覚障害者用のビデオ放映、点字解説書  
○車いす対応トイレ

Q6 貴文化施設内（主に展示室やホール内）に補助犬を同伴できますか。

有効回答数： 42 件

|        |               |       |
|--------|---------------|-------|
| 1 できる  | 回答施設数<br>20 件 | 47.6% |
| 2 できない | 31 件          | 73.8% |
| 無回答    | 1 件           | -     |

Q7 管理運営にかかるスタッフ数（非常勤を含む）をお答えください。（いない場合は“0”を記入してください。）

有効回答数： 43 件

|  | 回答施設数 | 平均    | うち障害のある人を採用している施設数 | 平均    |
|--|-------|-------|--------------------|-------|
| 1 常勤職員数                                    | 42    | 8.0 人 | 2                  | 1.0 人 |
| 2 非常勤職員数                                   | 26    | 6.6 人 | 3                  | 1.0 人 |
| 3 ボランティアスタッフ                               | 7     | 7.4 人 | 0                  | 0.0 人 |
| 4 イベントの当日運営(受付、会場案内等)にあたる人材派遣会社などによる外注スタッフ | 10    | 4.6 人 |                    |       |
| 5 その他                                      | 6     | 5.3 人 |                    |       |

○大津祭の時は多数のボランティアスタッフ有 ○舞台管理等  
○協力職員(当方議会) ○イベントのボランティアスタッフ(一日限り)

Q 8 障害のある人に対するサポートや理解に関する研修の実施状況についてお答えください。

有効回答数： 43 件

- 1 実施したことがある  
2 実施していなかったが、今年度実施する予定がある  
3 実施する予定は今のところない

回答施設数

|      |       |
|------|-------|
| 16 件 | 37.2% |
| 0 件  | 0.0%  |
| 27 件 | 62.8% |

○障害のある方の特別開館に向けて、そのスタッフ中心に行った。  
○あいサポートセンター研修、講義「障害者雇用を知ろう」、手話講座  
○障害のある人と美術や舞台表現を楽しむための芸術活動支援のためのプログラム  
○ユニバーサルマナー検定  
○ご来場者別に案内方法や非常時の対応を全体共有  
○手話フェスタ、滋賀県視聴覚福祉協会による手話講習  
○人権研修、障害者差別解消法についての研修  
○びわ湖舞台芸術スタッフセミナー「だれもが参加できる環境作り」  
○博物館協議会による研修  
○会館で開催ではなく、滋賀県効率文化施設協議会の研修に参加。講演会および体験。

Q 9 (Q 8) で「3 実績、予定ともない」と答えた場合、どのような要素があれば研修を実施したいと思いますか。あてはまるものを全て選択してください。(複数回答可)

有効回答数： 27 件

|                     |      |       |
|---------------------|------|-------|
| 1 研修内容のノウハウ         | 8 件  | 29.6% |
| 2 福祉部署・施設、福祉関係者との連携 | 9 件  | 33.3% |
| 3 国または県、市町からの予算措置   | 7 件  | 25.9% |
| 4 国または県、市町が実施する研修機会 | 15 件 | 55.6% |
| 5 人員                | 7 件  | 25.9% |
| 6 特になし              | 4 件  | 14.8% |
| 7 その他               | 1 件  | 3.7%  |

○基本については理解し、職員間で共有しているので今現在の予定はありません。

Q10 障害のある人に対するサポートや理解に関する研修には、どのような内容が必要と思いますか。あてはまるものを全て選択してください。（複数回答可）

|                    |      |       |
|--------------------|------|-------|
| 1 障害のある人への対応や接遇    | 39 件 | 90.7% |
| 2 障害のある人が参加できる事業企画 | 18 件 | 41.9% |
| 3 スタッフの意識啓発        | 26 件 | 60.5% |
| 4 特になし             | 0 件  | 0.0%  |
| 5 その他              | 3 件  | 7.0%  |

有効回答数： 43 件

○接遇に際するリスクマネジメント

Q11 障害のある人が公演や展覧会等（自主・共催・貸館事業を含む）に鑑賞に来ていますか。

- 1 はい  
2 いいえ  
3 わからない

回答施設数

|      |       |
|------|-------|
| 36 件 | 83.7% |
| 1 件  | 2.3%  |
| 6 件  | 14.0% |

有効回答数： 43 件

Q11で「1 はい」とお答えの方に伺います。

Q12 どのような障害種別の人が鑑賞されているか、1～7の事業ごとにお答えください。（複数回答可）

有効回答数： 36 件

#### 1 展覧会事業

回答施設数

|              |          |
|--------------|----------|
| 21 件         | 18.4%    |
| 知的障害         | 8 11.0%  |
| 発達障害         | 7 9.6%   |
| 身体障害(車いす利用有) | 18 24.7% |
| 身体障害(車いす利用無) | 8 11.0%  |
| 聴覚障害         | 9 12.3%  |
| 視覚障害         | 8 11.0%  |
| 精神障害         | 4 5.5%   |
| 障害種別不明       | 11 15.1% |

#### 2 コンサート事業

回答施設数

|              |          |
|--------------|----------|
| 25 件         | 21.9%    |
| 知的障害         | 10 13.2% |
| 発達障害         | 7 9.2%   |
| 身体障害(車いす利用有) | 23 30.3% |
| 身体障害(車いす利用無) | 10 13.2% |
| 聴覚障害         | 6 7.9%   |
| 視覚障害         | 7 9.2%   |
| 精神障害         | 4 5.3%   |
| 障害種別不明       | 9 11.8%  |

Q11で「1 はい」とお答えの方に伺います。  
 Q12 どのような障害種別の人が鑑賞されているか、1～7の事業ごとにお答えください。  
 (複数回答可)

有効回答数: 36 件

### 3 演劇公演事業

| 回答施設数        |      |       |
|--------------|------|-------|
|              | 14 件 | 12.3% |
| 知的障害         | 5    | 13.5% |
| 発達障害         | 4    | 10.8% |
| 身体障害(車いす利用有) | 11   | 29.7% |
| 身体障害(車いす利用無) | 5    | 13.5% |
| 聴覚障害         | 2    | 5.4%  |
| 視覚障害         | 1    | 2.7%  |
| 精神障害         | 2    | 5.4%  |
| 障害種別不明       | 7    | 18.9% |

### 4 ダンス公演事業

| 回答施設数        |     |       |
|--------------|-----|-------|
|              | 8 件 | 7.0%  |
| 知的障害         | 5   | 13.5% |
| 発達障害         | 4   | 10.8% |
| 身体障害(車いす利用有) | 7   | 18.9% |
| 身体障害(車いす利用無) | 5   | 13.5% |
| 聴覚障害         | 4   | 10.8% |
| 視覚障害         | 3   | 8.1%  |
| 精神障害         | 4   | 10.8% |
| 障害種別不明       | 5   | 13.5% |

### 5 伝統芸能公演事業

| 回答施設数        |      |       |
|--------------|------|-------|
|              | 12 件 | 10.5% |
| 知的障害         | 3    | 9.7%  |
| 発達障害         | 2    | 6.5%  |
| 身体障害(車いす利用有) | 9    | 29.0% |
| 身体障害(車いす利用無) | 3    | 9.7%  |
| 聴覚障害         | 2    | 6.5%  |
| 視覚障害         | 2    | 6.5%  |
| 精神障害         | 2    | 6.5%  |
| 障害種別不明       | 8    | 25.8% |

### 6 講演会事業

| 回答施設数        |      |       |
|--------------|------|-------|
|              | 18 件 | 15.8% |
| 知的障害         | 5    | 10.6% |
| 発達障害         | 4    | 8.5%  |
| 身体障害(車いす利用有) | 13   | 27.7% |
| 身体障害(車いす利用無) | 6    | 12.8% |
| 聴覚障害         | 4    | 8.5%  |
| 視覚障害         | 3    | 6.4%  |
| 精神障害         | 2    | 4.3%  |
| 障害種別不明       | 10   | 21.3% |

### 7 ワークショップ事業

| 回答施設数        |      |       |
|--------------|------|-------|
|              | 16 件 | 14.0% |
| 知的障害         | 8    | 17.4% |
| 発達障害         | 6    | 13.0% |
| 身体障害(車いす利用有) | 10   | 21.7% |
| 身体障害(車いす利用無) | 5    | 10.9% |
| 聴覚障害         | 3    | 6.5%  |
| 視覚障害         | 2    | 4.3%  |
| 精神障害         | 2    | 4.3%  |
| 障害種別不明       | 10   | 21.7% |

Q13 Q11で「1 はい」とお答えの方に伺います。  
鑑賞に来た障害のある人から、何らかのサポートを求められたことがありますか。

有効回答数： 36 件

1 ある  
2 ない

|      |       |
|------|-------|
| 21 件 | 58.3% |
| 15 件 | 41.7% |

○駐車場所の優遇 ○会場、座席への案内 ○トイレの補助 ○スロープへの案内  
○ホールから駅までの帰宅同行 ○車椅子の介助など ○駐車場への誘導  
○車イス利用者の入場を安全確保のために、開場直前に誘導してほしい  
○音楽祭開催時の公演間の移動サポート  
○視覚障害者から触れることのできる展示物の準備  
○触って展示物を鑑賞するためのサポート ○筆談  
○体験講座の開催時の手話通訳者の対応（手配）  
○車いす利用者の食事スペースの確保  
○扉の開閉  
○テロップがない映像資料の内容説明

Q14 Q11で「1 はい」とお答えの方に伺います。  
障害のある人が鑑賞に来た（来る）時に、対応で困ったこと（障壁）はありますか。

有効回答数： 36 件

1 ある  
2 ない  
無回答

| 回答施設数 |       |
|-------|-------|
| 11 件  | 34.4% |
| 21 件  | 65.6% |
| 4 件   | -     |

○事前の連絡なくグループで来場されること  
○酸素吸入による泡の音が静かなコンサートでは、障害となる。  
○女性の障害のある方からトイレの案内を求められた時、女性スタッフがいなかった  
○施設の構造上、エレベーターの設置は3階までのため、車椅子の方や高齢者に5階展望台に行っていただけない。  
○どのような障害があるのか、目視では判断できないとき。  
○手話通訳など職員で対応できない場合、どこに依頼すればいいのかわかりました。  
○施設がバリアフリーでなく段差が多い。  
○バリアフリーの間口が狭い  
○身体障がい者の罪対応にかかる人員がいない場合がある。  
○エレベーターのない箇所での対応  
○目が不自由な方への展示解説

Q15 自主事業において、障害のある人を鑑賞者として想定していますか。

有効回答数： 43 件

1 想定している  
2 想定していない  
3 自主事業を実施していない

| 回答施設数 |       |
|-------|-------|
| 31 件  | 72.1% |
| 7 件   | 16.3% |
| 5 件   | 11.6% |



Q16 障害のある人へ事業の情報を届けるために取り組んでいることはありますか。

有効回答数： 43 件

- 1 ある  
2 ない

|      |       |
|------|-------|
| 6 件  | 14.0% |
| 37 件 | 86.0% |

- ☐ 特別開館開催案内のダイレクトメール送付  
☐ アウトリーチにより、施設への演奏者派遣  
☐ チラシに情報を掲載(ヒアリンググループの案内)  
☐ 障がい者の団体へのチラシなどの配布、連絡  
☐ 近隣の施設にはチラシを送付したり、事業によってはご招待をしている  
☐ 人権関係の講演会では手話通訳をおいている。

Q17 障害のある人、または支援者から事業の申込みや問合せを受けたことがありますか。

有効回答数： 43 件

- 1 ある  
2 ない

| 回答施設数 |       |
|-------|-------|
| 33 件  | 76.7% |
| 10 件  | 23.3% |

Q18 障害のある人への鑑賞サポートを行っていますか。

有効回答数： 43 件

- 1 行っている  
2 行っていない

| 回答施設数 |       |
|-------|-------|
| 23 件  | 53.5% |
| 20 件  | 46.5% |

Q19 Q18で「1 行っている」とお答えの方に伺います。  
どのような鑑賞サポートを行っていますか。（複数回答可）

有効回答数： 43 件

|                      |     |       |
|----------------------|-----|-------|
| 1 手話通訳               | 4 件 | 9.3%  |
| 2 字幕表示               | 2 件 | 4.7%  |
| 3 点字や拡大字による表示        | 0 件 | 0.0%  |
| 4 副音声ガイド             | 0 件 | 0.0%  |
| 5 音声補聴               | 9 件 | 20.9% |
| 6 上演前の舞台説明(開館前の場内案内) | 2 件 | 4.7%  |
| 7 その他                | 9 件 | 20.9% |

○入館料割引  
○上記の部分は対応していませんが、ご要望には出来るだけお応えできるように努めている（車いすの付き添い等）  
また、視覚障害者に対し、教育普及備品に触れる体験の実施  
○個別の誘導案内  
○出来ることは限られているが、映画会を実施する時には字幕付きにしている。入場口から客席までのご案内の徹底（安全確保）など。  
○希望があった場合には、触れられる博物館資料（土器や火縄銃など）に触れていただき、少しでも長浜の歴史を知っていただく機会としている。  
○展示物に触っていただいたり、筆談にて説明したり、現状にて可能なサポートを心掛けている。  
○入場時に座席へ、退出時に座席から会館出口までの誘導。終了後のタクシー手配。  
○車椅子に乗ってお一人で来館された場合、扉の開け閉めの補助を行います。

Q20 障害のある人が参加できるワークショップなどの参加型事業を実施していますか。

有効回答数： 42 件

- 1 実施している  
2 実施していない  
無回答

| 回答施設数 |       |
|-------|-------|
| 7 件   | 16.7% |
| 35 件  | 83.3% |
| 1 件   | -     |

○年に一度ほど、障がいのある方のための特別開館を実施している  
○博物館教室「昔のくらし」、博物館講座「かまどめしを炊こう!!」などの事業で、障害のある人が参加できることを謳っているわけではないが、教員や引率者のサポートがあれば参加することは可能。  
○お茶挽き体験、土器に触れる体験  
○障がい者劇団の公演や講演会を実施。 ○アートワークショップへの参加。  
○障害のある方をターゲットにした催しではないが、どなたでも参加していただける演劇ワークショップを行っている  
○手形などを押す粘土作品づくりなど

Q21 障害のある人が参加できるワークショップなどの参加型事業を実施するにあたり障壁となることは何ですか。（自由回答）

|   |
|---|
| 障壁とまではいかないが、スタッフに充実が必要と思う。様々な障がいについて認識が十分でない。近年認知されてきた発達障害については外見では判別できないことが多く、まだまだ受け入れ側の対応が追いついていない状況である。  |
| 面倒を見る人員がいない。連れてこられるのなら鑑賞可能  |
| 障害者の文化活動に対するリスクマネジメント   |
| スタッフの人数が少ない。人員不足。対応できる人材を確保できない。  |
| 参加していただくためのPR方法。（障害によってPR方法が変わってくるため）   |
| 栗東歴史民俗博物館が実施する博物館教室「昔のくらし」（学校単位での参加による、小学校3年生向け体験プログラム）、博物館講座「かまどめしを炊こう!!」（事前申し込みによる一般参加者向け炊飯体験）は、いずれも移築民家旧中島家住宅（国の登録有形文化財）を主な会場としているが、移築民家旧中島家住宅は明治時代初期の農家を移築・復元した建物であり、バリアフリーの面などで、障害のある人への配慮がじゅうぶんに行き届かない点がある。 |
| 福祉面のノウハウを有したスタッフがいらないこと   |
| ワークショップの内容が、障害のある方向けになっていないことなど。  |
| 経費の問題。人件費が確保できない。   |
| 実施経験がないため、分からない。ノウハウがない（不足している）。サポートできる体制が十分でない。  |
| 当館の展示スペースが狭く限りがあること   |
| 障がいの度合いや、種類が聞きづらい。  |
| 他の鑑賞・参加者とのかねあい  |
| 「障害」と一言で言っても、さまざまな障害があるので、それらの人に対応するためにどうしたらよいか分からない。   |
| 障がいのある方を対象とした古典芸能のワークショップ実施のノウハウがない。<br>全ての障害のある方にあてはまらないが、能舞台のため、白足袋以外で舞台に上がれない。   |
| スタッフ人数が限られているため、障がい者対応への人的サポートが足りない。<br>催事ごとに外部のアシストをお願いします。  |
| 参加者とのコミュニケーションには不安があるが、幸い今のところトラブルはおきていない   |
| 障壁は特にはないと思います。指定管理の経験が浅くいまだに検討に至っていない状況です。  |
| 物理的な障壁で、当館は長等後援の中にあり、公共交通機関から遠いのと後援入り口から長い登り坂です。  |

Q22 障害のある人が文化芸術活動を鑑賞すること、ワークショップ等に参加すること、作品等を発表すること、作品を創作すること等、文化芸術活動に関わることにかかる相談等を受けたことがありますか。

有効回答数： 42 件

- 1 ある  
2 ない  
無回答

回答施設数

|      |       |
|------|-------|
| 22 件 | 52.4% |
| 20 件 | 47.6% |
| 1 件  | -     |

Q 2 3 Q 2 2で「1. ある」とお答えの方に伺います。  
具体的にどのような相談を受けましたか。（複数回答可）

|                                |      |       |
|--------------------------------|------|-------|
| 1 鑑賞に関すること                     | 17 件 | 77.3% |
| 2 創作・創造・発表に参加できる機会に関すること       | 7 件  | 31.8% |
| 3 ワークショップの実施、アウトリーチの受け入れに関すること | 6 件  | 27.3% |
| 4 交流の場や専門人材の紹介等に関すること          | 1 件  | 4.5%  |
| 5 その他                          | 1 件  | 4.5%  |

有効回答数： 22 件

○障害者の団体に貸館として部屋をお貸ししたことがある。

Q 2 4 障害のある人が文化芸術活動を鑑賞すること、ワークショップ等に参加すること、作品等を発表すること、作品を創作すること等、障害者の文化芸術活動に関わる相談等に対応できるノウハウを有していますか。

- 1 福祉面のノウハウを有した相談員が対応するなど、ノウハウを有している
- 2 福祉面のノウハウは有していないが、経験の蓄積等によりノウハウを有している
- 3 ノウハウはないが、福祉面のノウハウを有した機関・団体等を紹介している
- 4 ノウハウを持ち合わせていない

無回答

回答施設数

|      |       |
|------|-------|
| 2 件  | 4.8%  |
| 9 件  | 21.4% |
| 6 件  | 14.3% |
| 25 件 | 59.5% |
| 1 件  | -     |

有効回答数： 42 件

Q 2 5 県内には、障害のある人やその家族、福祉施設からの相談、美術館や文化施設等からの問い合わせなどに対し必要な情報を提供する等の支援を行う「アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター（略称：アイサ）」がありますが、知っていますか。

- 1 知っている。相談をしたこともある。
- 2 知っている。相談をしたことはない。
- 3 知らない

無回答

回答施設数

|      |       |
|------|-------|
| 1 件  | 2.4%  |
| 13 件 | 31.0% |
| 28 件 | 66.7% |
| 1 件  | -     |

有効回答数： 42 件

Q26 障害者の文化芸術活動の取組を進めるにあたり、地域の文化拠点として文化施設職員が専門的知見によるアドバイス等を行うために必要と思われることは何ですか。（複数回答可）

有効回答数： 43 件

1 障害者の文化芸術活動を理解するため、鑑賞や創造、  
評価など様々な場面で適切に支援することができる人材  
（コーディネーター）の確保

26

60.5%

2 文化施設職員がすでに持っている専門知識に加え、  
福祉等の他分野に関する知識や理解、経験を深める  
ための研修機会

27

62.8%

3 多角的な面から障害者による文化芸術活動について考えられるよう、  
障害者やその家族、福祉や芸術等の専門家、事業所や文化施設の職員、  
行政職員、教育関係者、研究者など、分野や領域を超えて関係者が  
集う拠点の整備（ネットワークの構築）

21

48.8%

4 その他

0

0.0%

Q27 Q26で選択された回答のうち、最も必要と思われるものと思われるものを選択してください。

有効回答数： 40 件

1 障害者の文化芸術活動を理解するため、鑑賞や創造、  
評価など様々な場面で適切に支援することができる人材  
（コーディネーター）の確保

19

47.5%

2 文化施設職員がすでに持っている専門知識に加え、  
福祉等の他分野に関する知識や理解、経験を深める  
ための研修機会

14

35.0%

3 多角的な面から障害者による文化芸術活動について考えられるよう、  
障害者やその家族、福祉や芸術等の専門家、事業所や文化施設の職員、  
行政職員、教育関係者、研究者など、分野や領域を超えて関係者が  
集う拠点の整備（ネットワークの構築）

7

17.5%

4 その他

0

0.0%

無回答

3

-